

赤 森涼太くんが「税の標語」で田川間税会会長賞受賞 池中の森くんが税の標語で快挙達成

赤池中2年の森涼太くんが「税の標語」で田川間税会会長賞を受賞しました。これは、11月11日から17日までの「税を知る週間」にちなみ、税の意義などを理解してもらう目的で全国間税会総連合会が毎年行っている取り組みです。森くんの作品「生きてます 社会を築く 消費税」は約1000点の応募から3点の中に選ばれた1点で、賞状と賞品が贈られました。



↑「初めてこのように表彰されたのでうれしいです」と言い、賞状を受け取る森くん。

↓勢いよく駆け出した低学年男子の部。懸命に走る姿に盛大な声援が送られました。



過去最多の92人が健脚を競う

町子ども会育成連絡協議会主催の「ふれあいマラソン大会」が11月20日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。寒風が吹き抜ける中、過去最多の町内小中学生92人が参加。学年や男女別に分かれ、健脚を競いました。沿道の温かい声援を背に、ほおを赤らめて駆けぬけた子どもたち。息を切らしながらも、すがすがしい表情を浮かべていました。

↓首をかき上げるような難題に苦労しながらも、チームで協力して答えを導きました。



親子でウォークラリー 親子だんらの一日に胸を弾ませて

「親子でウォークラリー」が11月13日に方城児童センターで行われ、9チーム48人が参加しました。方城地区の各所に設けられた8つのチェックポイントの「なぞなぞ」をチームで協力しながら解答し、日ごろ歩かない道で、新しい発見に胸を弾ませてゴールを目指した参加者。終了後に振る舞われたカレーで疲れを癒やし、親子だんらの一日を満喫していました。

個性豊かな秀歌がそろった短歌大会

「第31回福智町ともしび短歌大会」が11月23日に金田分館で行われました。短歌教室講師の柳原初子先生が10月20日までに投稿された短歌73首の中から、特選4首と入選4首を選出。教育委員長と文化連盟会長から受賞者それぞれに賞状と賞品が手渡されたのち、柳原先生が講評を伝えました。今回の優秀作品は22ページの「四季の歌」に掲載しています。



↑短い歌に自らの心情や感動を込める会員。力作がそろい、選出が難航しました。

↓2分間の飛行で上空200mまで上昇。子どもたちの「Yahooー」という、元気な声が大空に響いていました。



福智「夢」バルーンフェスタ2011 福智の上空から東北に元気を

「福智『夢』バルーンフェスタ2011」が11月23日に方城グラウンドで行われました。商工会青年部によるこのイベントは、当初3月に予定していましたが、大震災に配慮して順延。「福智町から元気を届けよう」と企画を練り直し、「がんばろう日本!」のタイトルを付けて初めての開催にこぎ着けました。町内の小中学生の夢を記した風船を飛ばす「バルーンリリース」や佐賀の熱気球クラブ「風翔軍」による「熱気球係留飛行体験」に、親子連れなど約2000人が来場。福智の空から東日本へ元気を届けているようでした。

福智町薬物・暴力追放教育講演会 薬物と暴力のない明るいまちを目指して

青少年の薬物乱用を防ぐとともに、暴力団追放への意識を高めようと、11月19日に「薬物・暴力追放教育講演会」が金田分館で開かれ、教育関係者など約150人が参加しました。講演会のパネル討論では、町内3中学校の代表者6人が意見交換し、「薬物も暴力団も、一度手を出したらやめられないことが分かった」と発表。身近に潜む危険を再確認していました。



↑赤池中の土肥良仁くんが生徒を代表して「薬物と暴力がない未来を願う」と宣誓。

↓福引きコーナーでは、山積み用意された賞品があっという間になくなりました。



福 金田恵比須祭り を授ける年の瀬の招福行事

12月2日から3日にかけて、金田恵比須神社奉賛会主催の「恵比須祭り」が金田菅原神社境内で開かれました。会場に訪れた約2000人は食物や日用品が当たる福引きや富くじを楽しみ、家内安全や商売繁盛などを祈願。場内では、参拝客に縁起をもたらす「打ちこみ」が行われ、威勢のいいかけ声と手締めのかん高い音が、年の瀬の招福行事を盛り上げていました。